

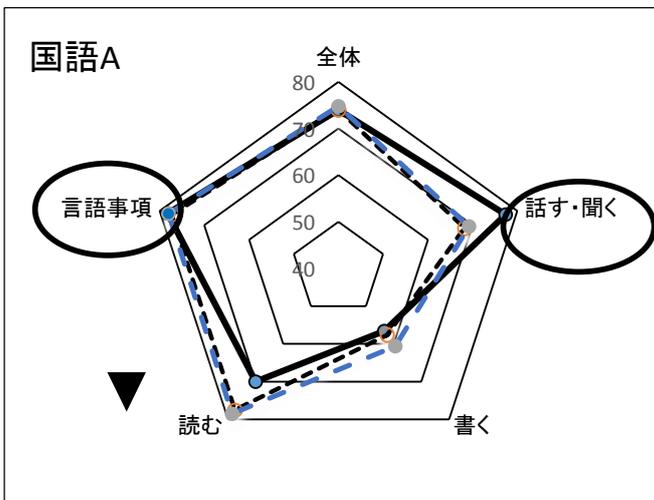
H29 全国学力学習状況調査の結果について

●— 広陽 - - - ● - - - 全道 ●— 全国

4月18日に実施された全国学力学習状況調査について、本校の結果と今後の取組について、その概要をお知らせいたします。なお、帯広全体の結果については、帯広市ホームページに掲載されておりますので、参考にしてください。

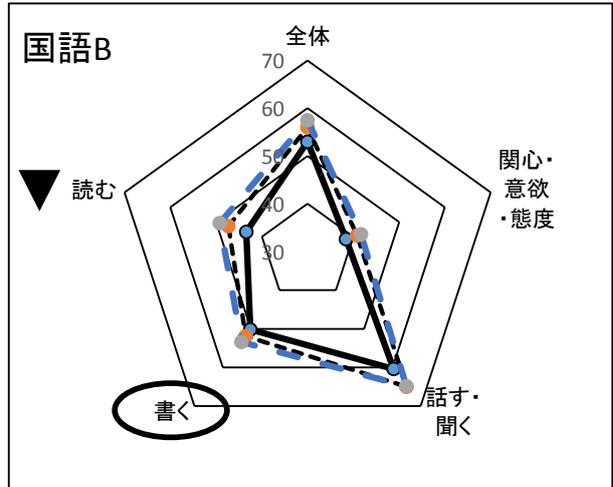
<国語A> …主として知識に関する問題

正答率は、全道、全国とほぼ同様の結果でした。領域別にみると、「話す・聞く領域」では全国平均を大きく上回りましたが、「読む領域」において、目的に応じて必要な情報を見つけて読む問題などに課題がみられました。漢字の読み書き問題では6問中5問で80%以上の正答率でしたが、漢字の書きが1問30%程度であり、定着を図る必要があります。



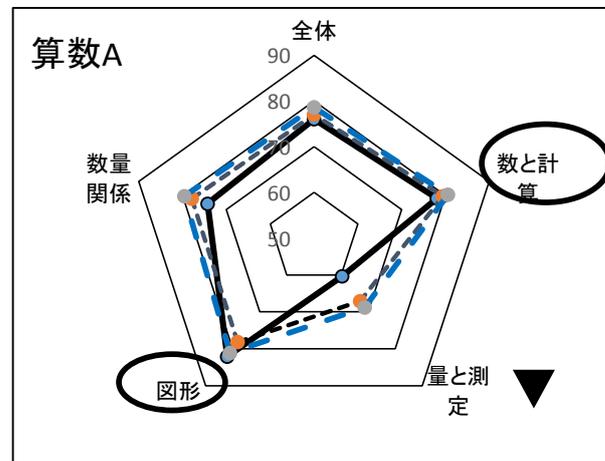
<国語B> …主として活用に関する問題

正答率は、全道、全国をやや下回る結果でしたが、昨年度より差が大きく縮まりました。領域別に見ると特に「読む」に課題が見られました。目的や意図に応じて適切に話す問題では全国平均を上回りましたが、必要な内容を整理して書く、発言の意図を捉えて読む、などの記述問題で、課題が見られ引き続き今後の重点になります。



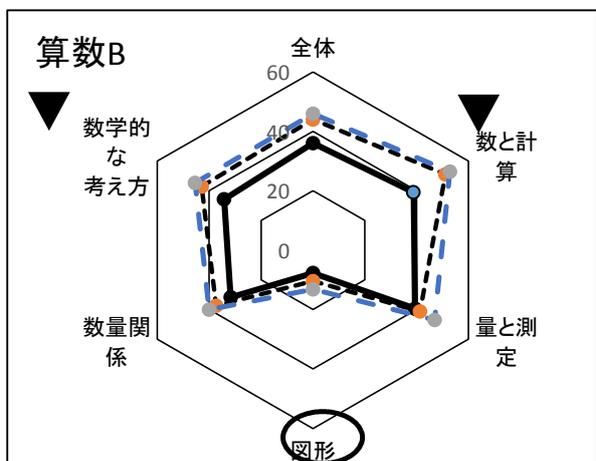
<算数A> …主として知識に関する問題

正答率は、全国平均をやや下回り、全道平均とほぼ同じ結果で、その差は縮まりつつあります。特に「図形」の領域では、全国を上回る結果となりました。問題別では、四則計算の加法と乗法、整数と小数が混じった計算、任意単位による測定、図形の面積における底辺と高さの関係の理解などにおいて課題が見られました。今後も基礎基本の内容の各自な定着を図ることを継続して取り組みます。



<算数B> …主として活用に関する問題

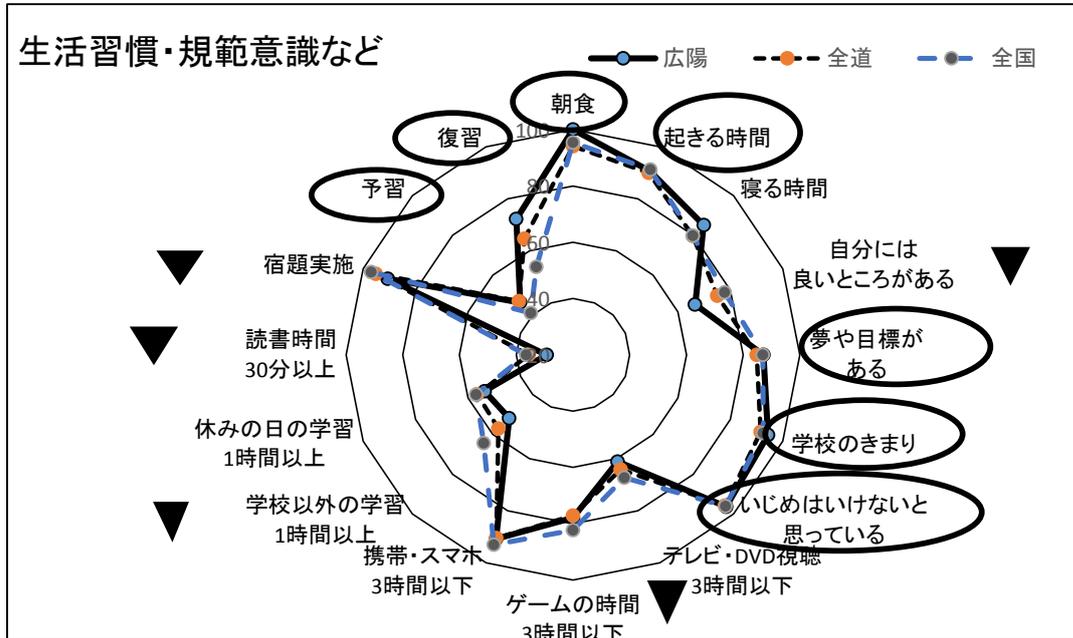
正答率は、全国平均、全道平均ともに下回る結果でした。「量と測定」の領域はほぼ全道平均と同様でしたが、他領域では全国平均との差は広がり大きな課題となりました。割合を比較する問題や式と表を関連づける問題は、ほぼ全国平均と同様でした。しかしながら、求め方の記述や選択した理由などを示したり、立式はできるが計算の途中で間違えるなどあと一步の回答状況も多くみられました。



<児童質問紙(生活習慣等に関する)調査の回答から>

明朗快活な広陽子の姿が回答の結果から伝わってきます。

基本的な生活習慣では、「早寝・早起き・朝ご飯」が定着していますが、家庭学習の時間や宿題をしっかりとやっているかなどにやや課題がみられました。また、依然としてテレビやゲームの視聴時間が多く、反対に読書の時間が少ないことが課題です。今後も家庭や地域との連携を図っていく必要があります。「夢や希望があり、きまりを守る、いじめは許さない」は全国平均、全道平均を上回っていますが、自尊意識については更に高めていく必要があります。更に一つ上を目指して行きます。



【結果からわかること】

成果

- 1 国語や算数における基礎基本の定着について
◎国語では漢字、算数では四則計算について、毎日の練習や日々の学習での定着復習、宿題や家庭学習における強化などを行っている成果が現れています。
- 2 算数の学習について
◎算数の時間に、加配教員と共に授業を行い、複数体制で児童に寄り添う指導や習熟度別の学習を進めている成果が見られています。
また、本校の校内研究教科が算数であり、わかりやすく学び合う算数の授業を研究していることもその要因であると考えます。
- 3 生活習慣や規範意識などについて
◎家庭生活において「早寝、早起き、朝ごはん」や、規範意識の高まり、夢や将来にむけた希望などにおいて成果がみられ、日頃から各ご家庭の理解・協力があるからこそその成果と考えます。

課題

- 1 国語や算数において
●国語の習った漢字を読むことよりも書くということに課題が見られます。また算数においては、数量関係の学習や理論的に説明する問題に課題が多く見られました。国語においても記述問題の克服が課題となっていることから、教科を越えた対策が必要となります。
- 2 生活習慣や規範意識について
●家庭生活において、TVやゲームの視聴時間が大変多く、この改善が急務となっています。さらに、読書習慣の定着も必要となっています。

【学校として取り組むこと】

今後も児童1人ひとりに、基礎基本の学力を含めたその学年で体得すべき学習内容をしっかり身につけさせるよう、学校として力を尽くしていきます。

- 1 わかる、できる授業を目指し、日常の授業を改善するとともに、基礎・基本(漢字や四則計算)の定着を軸にした取組を行います。
〈朝学習や宿題、家庭学習の改善・充実〉
- 2 算数科を中心とした習熟度別学習や個別指導を進め、充実を図っていきます。
- 3 読書や書く活動への取組を強化します。
- 4 学習規律を徹底・定着することにより、落ち着いた学習環境作りを継続します。
- 5 各家庭との連携をより充実させ、個々の学習習慣の定着を図ります。〈家庭学習の習慣化、内容の改善、ゲームやTVの視聴時間の短縮、読書の奨励〉